



いいさか光典へのご質問やご要望等お聞かせください。

Horizontal dashed lines for writing a message.

ふりがな
お名前
ご住所
電話番号
Eメールアドレス

郵送またはFAX
をお送り下さい。

宛先》 いいさか光典事務所

住所：〒594-1121 和泉市下宮町88-1
FAX：0725-92-1811



維新前進
ISHINZENSIN
Vol.3

大阪維新の会 和泉市議会議員

いいさか光典 市政報告



「まずは、政治家自身が身を切る改革」

議会改革検討会議の現時点での結果を受け、和泉市に対し議員報酬の一部受け取り拒否を表明し、法務局に供託することとし、我々大阪維新の会和泉市議団の覚悟をお示しさせていただいております。



発行日 平成29年10月23日 発行元 いいさか光典 〒594-1121 和泉市下宮町88-1

いいさか光典 市政報告会 & 維新の会 議会報告会

2017 11月26日(日) 午前10時～午前11時
※午前9時30分開場

場所 和泉市総合スポーツセンター【旧府立 横山高校】
多目的室

弁士 衆議院議員 大阪府議会議員 和泉市議会議員 和泉市議会議員
<予定> 遠藤敬 / 森かずとみ / 松本としひろ / 遠藤隆志

※入場無料 ※多数お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。
お問い合わせ TEL：0725-92-1811 E-mail：iisaka.izumi.isin@gmail.com

オンラインでも情報発信中

facebook 飯阪 光典

https://www.facebook.com/mitunori.iisaka



次の世代に
安易にツケをまわさない
税金の使い方は
納税者の立場に立つべき！

維新

まずは政治家自身が
身を切るところを
バサッとやって

和泉市の小・中学校の学力の現状を憂い、どうすれば学力向上を図れるかを考えると共に、「教育への投資！」「現役世代への投資！」が何故、今、必要なかを訴え続けております。「教育先進都市・和泉市の実現」こそが持続可能なまちづくりへとつながります。



「教育先進都市・和泉市」の実現へ！

平成29年第2回定例会 一般質問

* 中学校英語教育について

公立小学校での英語教育への取り組みと要望については、平成28年第3回定例会にて質問させていただき小学校では新たな取り組みが実践される事となりました。

今回は、小・中を通して切れ目ない系統性あるカリキュラムと内容の充実をはかるため中学校英語教育についての質問として、英語の4技能、つまり、「話す」「聞く」「読む」「書く」。この4技能習得をどのように行うのか。また、学習指導要領の改訂により平成33年度より『英語の授業が原則として英語で進行される』ことに対する本市の対応について尋ね、まずは、英語に慣れることから始め、段階的にレベルアップを図り、「義務教育終了段階で自分の考えや意見を英語で伝えることができる生徒を育成するよう努める」という力強い答弁をいただきました。また、英字新聞などを活用し「読む」力を、そして、自ら発表に向けた原稿の作成などを行い「書く」力を身につける教育方針が示されました。

同時に、教育の根幹である学校教育の形成には教員のレベルアップ・スキルアップが必要であること、そしてそのためには、教員が本来業務である「教えること」に専念できる環境づくりが必要であることを訴えました。

本市の公立小・中学校で学ぶと【使える英語】が身につく！

そのような教育環境を実現するため、今後も、提案と要望を続けてまいります。

* 自習室の増設について

子どもたちが、「確かな学力」を身につけるうえで「自学・自習」の習慣は欠かすことはできません。にもかかわらず、本市として自習室を設置してはいるが、市民のみならず、特に子どもたちのニーズを満たしていないこと、市内の地域間における開設箇所とその席数の公平性の欠如を指摘しました。具体的には、北部・北西部には4カ所・計104席の環境があるが、中部はシティープラザの1カ所・36席のみ、南部にいたってはその環境すらありません。これが、当市の自習室の現状です。

私自身、実際に中学生・高校生から自習室に対する不満と要望を聞き、しっかりとこの声を施策に反映しなければならないという使命感と公平性の観点から市内各地域に設置を要望すると共に、自習室の席数を増やすために各施設の空室を何故、有効活用しないのかを質問しました。

もちろん、現段階では指定管理者の管理下にあるので、常設は困難としてもテスト前などの利用希望者が多い時期に臨時に開設できるのではないかと提案と市民のみならずへの自学・自習空間の十分な提供のために自習室の増設・増席を要望しました。

平成29年第3回定例会

* 教育バウチャー制度の導入について

大阪府の学力が全国最下位という報道をうけ、本市の学力レベルの現状を問い、どのような学力向上施策を行っているのか。また、今後行おうとしているのかを質問し、実際に教育を受ける子どもたちや、その保護者の立場になり、今、何が本当に必要な施策なのかを提案・要望しました。具体的には、学力向上に向けた様々な施策を行っているにも関わらず、本市の学力は、全国最下位レベルの大阪府の平均以下となっており新たな一手として本年10月末より『いずみ希望塾』を開設するが、今後しっかりと効果検証を行い、さらに発展させていく必要があることを指摘すると共に、その一歩先を行く施策として大阪市が、すでに実施している『教育バウチャー制度』の本市での導入を提案しました。

この「教育バウチャー」とは、用途を学習塾や習い事に限定したクーポンであり、子育て世代の保護者の負担を減らし、これまで塾や習い事に通うことができなかった子どもたちにも、学習する機会やあらゆる技能を習得する機会を創出する制度です。また、この制度のメリットとして、今回の「いずみ希望塾」とは違い、利用者、つまり、子どもたちが自由に学習塾をはじめとした習い事を『選択』でき、そのうえ、事業者間の競争により『サービスの質の向上』が図れる点をとりあげ、来るべき少子高齢化社会への対応として「現役世代への重点投資」が必要となり、それが、子育てしやすいまちづくりへと繋がると訴えさせていただきました。引き続き、「教育バウチャー制度」の導入に向け取り組んでまいります。

* 災害時避難所について

近年の自然災害は、人知を超えたものが多く、その被害は甚大化しております。私自身も昨年の熊本、そして、本年7月には、福岡県朝倉市へと災害ボランティアとして活動してまいりましたが、そこで感じたことは、災害は、いつ?どこで?発生するか分からず、他人ごとではないということです。それゆえに、しっかりと日頃からできる限りの備えが必要となります。

そして、災害発生時に、市民のみならずが避難することとなるのが避難所です。本市においても、去る8月7日の台風5号、9月17日の台風18号上陸時に、指定避難所が開設され、その際、避難されている方々の状況確認と生の声をお聞きするために、数カ所の避難所へ伺いました。その際、避難所として指定している施設において相当量の雨水の侵入と酷い雨漏りを目の当たりにし、災害時の避難所として使用できるのか不安を感じ本市の避難所の現状について質問しました。

いつ発生するかわからない災害に備え日頃からの施設整備の必要性について訴え、迅速な対応と、避難所の整備についても、女性・子ども・高齢者・障がい者等、市民のみならずの視点に立った内容の充実を重ねて要望し、今回指摘した施設においては、既に全ての補修が完了しました。

平成29年第3回定例会 各委員会・委員会協議会での主な内容

厚生文教委員会

「いずみ希望塾」の受講生募集・10月末からの事業開始

都市環境委員会

(仮称)和泉市農業振興研究施設の建設への事業概要報告

総務安全委員会

平成9年以来未開催の「和泉市特別職報酬審議会」の開催



大阪維新の会 和泉市議会議員
いいさか光典